



南アルプス市サードブック事業

本とともに

— きみのそばに この一冊 —

【小学校4・5・6年生にすすめる本】



司書が選んだ とておきの本を紹介します

令和 7 年度



サードブック事業とは

みなみ
南アルプス市では、家庭における読書の推進と子育てを支援するため、4か月児健康診断時に絵本を手渡す「ブックスタート事業」、小学校1年生に本を手渡す「セカンドブック事業」、さらに小学校4・5・6年生と中学生におすすめの本を紹介する「サードブック事業」を実施しています。

じどう
児童・生徒が本への親しみや興味を持ち、心豊かに成長することを願い、市立図書館司書と学校司書がおすすめの本を選びました。「小学校4・5・6年生にすすめる本」のリストと「中学生にすすめる本」のリストがあり、市立図書館のホームページからも見ることが出来ます。



図書館マスコットキャラクター

ライライ

きっと、あなたの背中を押してくれる一冊があるはずです。

本との素敵な出会いがありますように。

南アルプス市立図書館ホームページ

<http://m-alps-lib.e-tosh.jp>



こちらから



【 ふつうって何?と思った時に 】 『6カ国転校生ナージャの発見』

著／キリーロバ・ナージャ
出版社／集英社インターナショナル

「全員が黒板と前に立つ先生の方を向いて席に座る」「整列する時は背の小さい順」「算数のテストに計算機は使わない」「給食は同じメニューを学校で食べる」自分自身も学校生活の中で当たり前にしてきた事に“それは、なぜ?”と疑問を持ち、何がベストかを考えることの大切さに気づかってくれる一冊です。その国の文化や価値観が大きく反映される学校という場所。著者の実体験を通して6カ国の教室をながめ、違いを楽しんでください。



【 ドキドキワクワクしたい時に 】 『天久鷹央の推理カルテ ジュニア版 カッパの秘密とナゾの池』

作／知念実希人
装画／いとうのいち
挿絵／一束
出版社／実業之日本社

ミステリー作家の東野圭吾が好きな私は、この本の著者が東野圭吾に影響を受けた事を知り、著者の作品を読むようになりました。この本は、ある日突然池に現れたカッパの正体を、医師の天久が医学の知識を使って解決する話です。医療系のミステリー小説で、様々な医療の知識に触れる事ができ、読みながら自分で推理して楽しむこともできます。ジュニア版で、読みやすいので「ドキドキワクワク」を体験してみてください。



【 友達と好きなことが一緒だった時に 】 『ふたり』

著／福田隆浩
出版社／講談社

クラスでいじめにあってる佳純と自立たない存在の准一は、二人ともミステリー作家の月森和の大ファンであることを知って仲良くなります。月森和が別の名前で本を書いていることを知り、二人は図書館で名前の手がかりを探します。読んでいるうちに、私も小学生の頃、友達と好きな本が一緒に嬉しかったことを思い出しました。佳純と准一は、作家の秘密を知ることができるのでしょうか?



【 窓を乗りこえて冒険したい時に 】 『ビリーと森のミンピン』

ロアルド・ダールコレクション 21
著／ロアルド・ダール
絵／クエンティン・ブレイク 訳／おぐらあゆみ
出版社／評論社

小学生の時、読み始めると止まらなくなった『チョコレート工場の秘密』。作者ロアルド・ダールのコレクション最新刊がこの本です。少年ビリーはママの言いつけに逆らい、絶対に行ってはいけない「あやまちの森」へ一人で向かいます。森の小人ミンピンに出会い、ナゾのカイブツと戦う愉快な冒険ファンタジー。ビリーと一緒に、窓の向こうに広がる森へ飛び出して、本の中で冒険してみませんか?



【 気分転換をしたい時に 】

『なぜこうなった?あの絶景のひみつ』

文・構成／増田明代

監修／山口耕生

出版社／講談社

白い段々畑のような「石灰棚」という地形が広がるトルコのパムッカレ。年2回、山頂から太陽が顔を出している姿が大粒のダイヤモンドの指輪のように見えることからダイヤモンド富士と呼ばれる日本の富士山。どのページも絶景＆絶景のひみつばかり。学生時代、勉強を続ける集中力が無くなってしまった時、本を開き気分転換をしたことがあります。みなさんもそんな時にはこの本を手に取ってみませんか。きっと勉強に再び集中できるはずです。



【 色々なお菓子を知りたい時に 】

『パーティシ工のお仕事を見にいく』

編／柴田書店

出版社／柴田書店

お腹が空いた時はもちろん、ちょっと一息つきたい時などに食べたくなるお菓子や甘いもの。無くともいいけれど、お菓子があると豊な時間になりますよね。一口にお菓子といっても種類はたくさん。この本では色々なお菓子を作る職人さんの仕事とともに、お菓子のレシピも載っています。私はクッキーを作ってみました。次は何を作ろうか悩み中！みなさんも色々なお菓子作りに挑戦してみてください。



【 お金持ちになりたい！と思った時に 】

『お金の図鑑』

監修／あんびるえつこ

出版社／新星出版社

生徒から「お金持ちになるには?」という質問をよくされるので、どうしたらよいか色々と考えてみました。

まずはお金の使い方や社会とのつながりなどについて学ぶことが、お金持ちに近づく第一歩なのではないかと思いました。お金についてくわしくなることは、社会や経済の仕組みについてもくわしくなれるということです。これから自分の将来について考える良いきっかけになる一冊です。



【 くすっと笑いたい時に 】

『一年一組せんせいあのね』

選／鹿島和夫

絵／ヨシタケシンスケ

出版社／理論社

私は小学生の頃、担任の先生からの宿題で「あのね帳」という日記を書いていました。先生からの一言のお返事がうれしかったのを覚えています。

この本を読んで、毎日のなんでもないことが後から思い出すと、くすっと笑えることってあるんだよなと、あらためて思いました。そんなだれかに「あのね」と伝えたくなる小さな発見やよろこびを読んであなたも笑ってみてはいかがでしょうか。



【 自分の思い込みをなくしたい時に 】

『それって決めつけじゃない!?
アンコンシャス・バイアス 全3巻』

文 / 松島恵利子

監修 / 北村英哉

マンガ
イラスト / のはらあこ

出版社 / 汐文社

「男なら泣くんじゃない!」「女の子らしくしなさい!」「最近の子どもは…」とか…。みなさんは言われた経験がありませんか?私は体が大きいので「運動できそう」とよく言われるのが大の苦手です。

このような無意識に決めつけたり思い込んだりすることをアンコンシャス・バイアスと言います。この本ではマンガとイラストを使い、様々な例が紹介されています。思い込み・決めつけと上手に付き合う方法を知りましょう。



【 命の尊さに気づいた時に 】

『捨て犬・未来、天国へのメッセージ』
著 / 今西乃子

写真 / 浜田一男

出版社 / 岩崎書店

子犬の時に虐待され捨てられるも命を救われた「未来」。新しい家族との暮らしが始まますが、兄弟犬の「蘭丸」は病気になり先に亡くなってしまいます。悲しみながらも前向きに生きた、飼い主とペットの愛情いっぱいのノンフィクションです。私も「蘭丸」に似たコーギー犬を14年間飼っていました。今でもその笑顔に癒されていた事を思い出すと、ふいに切なくなります。ペットの尊い命の輝きと、その命をあずかる大切さを感じてほしい一冊です。



【 痛快な読後感を味わいたい時に 】

『きまぐれロボット』

著 / 星新一

絵 / 和田誠

出版社 / 理論社

私が子どもの頃、「こんなことが本当にあったらしいのになあ」と考えながら夢中で読んだ本です。31編のショートショートには、ロボットや宇宙人などが登場し、怪しげな実験・発明・研究といった、子ども心にワクワクするようなワードもたくさん出てきます。表題作の「きまぐれロボット」では、まさかボケ防止や運動不足の解消のためにロボットをきまぐれに作ってあったとは…。ユーモアとスパイスが利いた痛快なラストを味わってください。



【 自分を見つけていた時に 】

『空色勾玉 新装版』

著 / 萩原規子

出版社 / 徳間書店

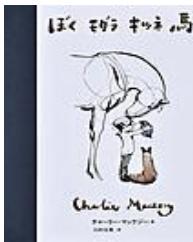
小学生だったとき、図書の先生に『空色勾玉』という本を次の日に返すという約束で貸してもらいました。暗い青色に、勾玉が描かれた表紙でした。一晩で読み切った本には、光と闇の境に立って、己と向き合う少女と少年の物語が記されていました。そのとき読んだ本と形は違いますが、大人になってから読んでも物語の素晴らしさは変わりません。みなさんも読んでよかったですと思える本をたくさん見つけてくださいね。



【 なかまきもちしどき 仲間の気持ちを知りたい時に 】
『金色の羽でとべ』

作／高田由紀子
出版社／小学館

北見選手みたいになる！を目標に、アッパーをめざして空良。ところが、空良の所属するバレーチームに転入生がやってきて、空良はキャプテンとセッターを任せられることに。部長、班長、委員長、リーダー…、みんなのまとめ役は難しいですね。仲間の頭の中が全部見えるようになったらいいのに！と私も悩んだことがあります。仲間の想いと自分の気持ち、それらを少しずつ整理して空良がたどり着いた答えとは。



【 なやこととき いろんな悩み事がある時に 】

『ぼくモグラキツネ馬』
著／チャーリー・マッケジー
訳／川村元気
出版社／飛鳥新社

誰もが一度は経験するような悩みをひもといってくれている本です。例えば“たすけを求めるとはあきらめのとはちがう。あきらめないために、そうするんだ”や“おおきくなったらなにになりたい？一やさしくなりたい”など…。
私も人にすすめられて読みましたが、言葉一つ一つがとても心にささりました。読み進めていくことで少しずつ気持ちがほぐれていく感じを、ぜひみなさんにも味わってほしい一冊です。



【 さいじょさいごいつき 最初から最後まで一気に読みたい時に 】

『アンジュール』

作／ガブリエル・バンサン
出版社／BL出版

この絵本には文字が書いてありません。しかし、文字がなくてもこの犬の突然の悲しみや驚き、絶望や孤独、そして希望を感じることができました。

鉛筆一本で描かれたシンプルな絵ですが、どのページも生きとした犬の姿が描かれており、最初から最後まで引き込まれてしまいます。ぜひあなたも手に取ってみて、ページをめくりながらいろいろなことを感じ取ってみてください。



【 どくしょかんそうぶんにがてかんとう 読書感想文が苦手だと感じた時に 】

『読書感想文が終わらない！』
作／額賀澪
絵／satsuki
出版社／ポプラ社

夏休みの図書室で、不思議な中学生「フミちゃん」と出会った5人の小学生は、彼女のアドバイスで本を選び、読書感想文を書いていきます。私は子どもの頃、夏休みの読書感想文が苦手で、毎年苦労しながら書いていました。本の中でフミちゃんから、今までとは違った読書感想文の取り組み方を教わることで、自分の本当の気持ちに気づくことができ、心のモヤモヤが少し軽くなりました。これなら「読書感想文が書けるかも！」と思わせてくれる物語です。



【 人間関係に悩んだ時に 】

『もし、親友をねたんできました』

編／日本児童文学者協会

絵／長田結花

出版社／偕成社

わたしには、顔も中身も完璧な友達に、嫉妬をしてしまった過去があります。この本は、そんな心のモヤモヤにそっと寄り添ってくれる一冊です。当時の私は、その友達にもまた、悩みがあることに気づいていませんでした。自分にはないものばかりに目が行ってしまいがちですが、本心を見ると案外自分と同じだったりします。これから関わる人との繋がりの中で悩んだ時に読んでほしいです。



【 ふしぎな生きものと友だちになりたい時に 】

『岸辺のヤービ』

著／梨木香歩

画／小沢さかえ

出版社／福音館書店

お話しの世界に出てくるふしぎな生きものが本当にどこかにいて友だちになれたら、どんなに素敵でしょうか。

この本では、人間のウタドリさんがヤービというハリネズミのような小さな生きものと出会い、自然の中で生きるヤービの世界の美しさや素晴らしいを知ります。私は今のところ、ふしぎな生き物には出会えていませんが、本を開けばいつでもヤービと一緒に冒険に出かけられます。みなさんもヤービと友だちになりませんか？



【 自分に自信がくなってしまった時に 】

『じんせいはしがみついてなんぼです』

詩／木坂涼

絵／長谷川義史

出版社／フレーベル館

この本は、動物たちの心のつぶやきを、詩とユニークな絵で描いています。クスッと笑ったり、なるほどと感じたりしながら読み進めていくと、それぞれの動物の魅力的な部分に気づかれます。「友達の良いところはたくさん見つけられるのに、自分の良いところはなんだろう？」と不安になったことがあります、良いところは人それぞれで、魅力的なところはみんなにあるんだと思わせてくれる一冊です。

令和7年度

南アルプス市サードブックリスト
【小学校】

編集・発行者

南アルプス市学校司書
南アルプス市立図書館司書

発行日

令和8年1月 Vol. 5

南アルプス市立図書館ホームページ
<http://m-alps-lib.e-toshoto.jp>



南アルプス市サードブック事業

本とともに

— あなたに寄りそう一冊 —

【中学生にすすめる本】



司書が選んだ とっておきの本を紹介します

令和 7 年度



サードブック事業とは

みなみ
南アルプス市では、家庭における読書の推進と子育てを支援するため、4か月児健康診断時に絵本を手渡す「ブックスタート事業」、小学校1年生に本を手渡す「セカンドブック事業」、さらに小学校4・5・6年生と中学生におすすめの本を紹介する「サードブック事業」を実施しています。

じどう
児童・生徒が本への親しみや興味を持ち、心豊かに成長することを願い、市立図書館司書と学校司書がおすすめの本を選びました。「小学校4・5・6年生にすすめる本」のリストと「中学生にすすめる本」のリストがあり、市立図書館のホームページからも見ることが出来ます。



図書館マスコットキャラクター

ライライ

きっと、あなたの背中を押してくれる一冊があるはずです。

本との素敵な出会いがありますように。

南アルプス市立図書館ホームページ

<http://m-alps-lib.e-tosh.jp>



こちらから



【自分の気持ちを伝えたい時に】

『いいたいことがあります!』

著／魚住直子

絵／西村ツチカ

出版社／偕成社

受験生の陽菜子は、母から勉強と家事の両立をするように言われます。兄は家事をしなくても良く、自分だけが言われたことに不満を感じますが、言葉にすることができません。そんな陽菜子の前に、同じ悩みを持つ女の子が現れます。

自分の気持ちを言葉にすることが苦手な私は、意見を言う場で黙ってしまうことが多く、もしてできていたら新しい発見があったかもしれません。自分の気持ちを言葉にする勇気を持つうと思わせてくれる一冊です。



【そっと心に寄り添ってほしい時に】

『きみのことがだいすき』

作・絵／いねいさえこ

出版社／パインインターナショナル

悲しい時、落ち込んでいる時、心が疲れた時…、そっと優しい言葉をかけてもらったらどうでしょう。大人になっても落ち込むことはたくさんあります。でもどんな小さな言葉でも優しくしてもらうと、とても気持ちが楽になり嬉しくなります。ふわふわの小さな動物たちが、悲しんでいる子にそっと優しく寄り添ってくれる、温かい気持ちになれる本です。どのページを開いても心がホッとすることでしょう。



【世界にちょっと反乱をおこしたい時に】

『晴れ、時々くらげを呼ぶ』

著／鯨井あめ

出版社／講談社

主人公の後輩・優子がしているのは「雨乞い」ならぬ「くらげ乞い」。それは世界の理不尽に対する反乱でした。学生の頃、人間関係に理不尽な思いをしていた私は、「いつもとちょっと違う道を通ったら何かが変わるかも。」とおまじないのように別の道を通ったことがあります。優子が「くらげ来い！」と叫ぶ姿は、あの頃の自分に似ていて思い出すのが辛い一方で、世界がちょっとでも変わるように応援したくなる、そんな一冊です。



【少しへこんでしまった時に】

『「また、必ず会おう」と誰もが言った。』

著／喜多川泰

出版社／サンマーク出版

一つの嘘から単身でディズニーランドに行くことになった主人公。不運が重なり帰りの飛行機のお金が足りなくなってしまいます。そんな彼に声をかけたのは一人のおばさんで…。もがきながらも周りに助けられ成長する高校生が描かれています。親や周りの人に反抗していた学生時代、多くの人に支えられていました。この作品を読んで感じました。過去を変えることはできませんが、未来を作ることはできる。そんな風に前を向く力を与えてくれる物語です。



【 なにかに悩んだ時に 】

『アンドロメダの涙』
くがのこうこうてんもんぶ
久閑野高校天文部の、秋と冬』
著／天川栄人
出版社／講談社

てんちもんのじゅくしゅうじゅくじゅうじんこう
天文部に所属する主人公の「えるも」は、忙しい高校生活を
おくしゃうらいのかんがえことじにのかのじょ
送っています。将来について考える事から逃げていた彼女が、
てんちもんがくひとすじせんぱいひかもすなかごころうこじぶん
天文学一筋の先輩や仲間と過ごす中で心を動かされ、自分らし
い進路選択にたどり着きます。無邪気な子どもでないからこそ
りそろほんじつみやことすがたばくせいころじみんかさ
理想と現実に悩む事があり、その姿が学生の頃の自分と重なり
ました。たくさん悩んでも迷っても、間違っても大丈夫。疲れ
たら、えるも達のように星空を見上げてみるのも良いかもしれません。



【物事の原点が気になった時に】

『カレーライスを一から作る』

わしたち
私たちの暮らしになくてはならない食べ物や道具は、どこでどうやって作られているのでしょうか？これは、学生達が、カレーライスの食材や器などもすべて「一」から作った記録です。この本を通して、食べることは多くの命や手間に支えられていると気づきました。動物も植物も尊い命。私はきっと鳥を食べるためには殺すことはできません。だからこそ、日々の食事を大切にしたいと思いました。食べること、生きることを考えるきっかけになる一冊です。



【 スマホに振り回された時に 】

たたかう方が
『正しく疑う』

便利なスマホはすっかり生活の一部となり、毎日利用しています。一方で、誹謗中傷や詐欺などのニュースを見るたびに、SNSで簡単に誰とでもつながれるスマホの怖さを感じています。ささいなことがきっかけとなり、大きなトラブルになってしまふスマホの使い方を、この本を通してもう一度見直してみませんか？加害者にも被害者にもならないために、正しい情報を見極めて判断し活用する力を身に着けてほしいです。



【 いっしょくんめいがんばるとき 一生懸命頑張りたい時に 】

著／まはら三桃
出版社／講談社

たったひとつ心から打ち込めるものに出会えたら、それは一番の喜びだと思いますか。主人公は工業高校機械科唯一の女子。高校生ものづくりコンテスト日本一を目指し、技術を磨き成長する物語です。私も学生時代、目標に向かって努力した経験を思い出し、この本を通して、夢中になることの素晴らしさを再び感じることができました。あきらめず挑戦する主人公の姿は、きっと、頑張りたいあなたを応援してくれるはずです。



【 考えの違いを感じた時に 】

『チョコレートを食べたことがないカカオ農園の子どもにきみはチョコレートをあげるか?』
著 / 木下理仁
出版社 / 化報社

この本では国際協力と多文化共生をテーマに、各国の課題と実情を共に扱い、その話し合いの様子を「読むワークショップ」として紹介しています。

私も家族で世の中の出来事や政治について話す中で、育った環境や経験により受け止め方が異なると感じたことがあります。簡単に答えが出せない課題ばかりですが、想像力を働かせ考え続ける大切さを教えてくれる一冊です。



【 居場所に息苦しさを感じた時に 】

『透明なルール』
著 / 佐藤いつ子
出版社 / KADOKAWA

クラス替えなどで新しい環境に不安になった事はありませんか。私は転校が多かったので毎回とても緊張した思い出があります。中学生の優希は、クラス替えでグループの輪に入れたものの、友達の言動に同調することや、自分を出せないことに悩みます。しかし、生徒会で一緒に男子や、個性のある転校生と心通わすうちに、自分でルールを決めて縛っていたのかもしれませんと気づきます。自分らしく、前を向いていくことができる爽やかな物語です。



【 ハラハラドキドキしたい時に 】

『名探偵ホームズ 赤毛組合』
作 / コナン・ドイル
訳 / 日暮まさみち 絵 / 青山浩行
出版社 / 講談社

名探偵と言えば、誰を思い浮かべるでしょうか。私は「シャーロック・ホームズ」です。謎を解き明かし事件を解決していく「推理小説」が好きになったきっかけは、中学生の時に夢中になって読んだ『シャーロック・ホームズ全集』でした。コナン・ドイルが生み出したホームズの話は全部で60作品ありますが、中でも、赤毛の男性能ばかりを会員として募集する団体から事件が起こる「赤毛組合」は、読みやすいのでオススメです。



【 いつか一人暮らしをしたいと思った時に 】

『とびきりおいしいおうちごはん』
著 / 野村友里
出版社 / 小学館クリエイティブ

私が初めて一人暮らしをした時に困ったのは、料理でした。それまでも家で手伝いくらいはしていましたが、毎日自分一人で作るとなると、一気にハードルがあがりました。この本は、料理以前の基本的なことや、料理同士を組み合わせて作る定食なども紹介されていて、実践に役立つこと間違いなしです。いつか一人暮らしをしてみたいと思っている人は、この本を読んで料理の腕を磨いておいてはいかがでしょうか。



【 「じぶん」とは何か考えた時に 】

『ほんとうのじぶん』

詩／石津ちひろ

絵／加藤久仁生

出版社／理論社

中学生になった時、小学校との環境の大きな違いにより、自分の性格が変わったと感じました。同じ小学校出身の人よりも違う小学校から来た人が多い教室で、上手自分が出せず、徐々に「小学生の自分」から、「中学生の自分」になってきました。本のタイトルでもある「ほんとうのじぶん」という詩に、あのころ出会えた良かったなと思いました。詩集なので、本を読むことが苦手な人にも読みやすい一冊です。



【 自分の居場所が欲しいと思った時に 】

『サード・プレイス』

著／ささきあり

絵／酒井以

出版社／フレーベル館

家でも学校でもない第三の居場所「サプリガーデン」。4人の中高生がこの場所を通して人と出会い、それぞれの抱えている問題を自分の力で乗り越えていく物語です。

私が学生の頃、こんな素敵なお場所はありませんでしたが、南アルプス市には、今、高校生までが利用できる児童館や誰でも利用できる図書館があります。利用したことが無いと言う人は、ぜひ一度訪ねてみてください。あなたにとってのサード・プレイスになるかもしれません。



【 動物園や水族館で働きたいと思った時に 】

『世界をめぐる動物園・水族館コンサルタント

の想定外な日々』

著／田井基文

出版社／産業編集センター

幼い頃、水族館が大好きで、生き物と触れ合う仕事に憧れていました。大人になりその仕事の大変さを知りましたが、コンサルタントという職業は初耳でした。

著者の田井基文さんは、日本で唯一の動物園・水族館コンサルタントです。世界をめぐり、動物園・水族館へのアドバイスや、問題解決のサポートをしています。生き物を相手にした仕事の大変さや、抱えている問題なども教えてくれます。動物園・水族館への理解がさらに深まる一冊です。



【 学校生活に窮屈さを感じた時に 】

『ルール！』

著／工藤純子

出版社／講談社

学校帰りにスマホを使用し、反省文を書くように指導された主人公の知里。知里が通う中学校では、スマホを返してもらうには職員室で反省文を読み上げるという「ルール」があります。「ルール」に傷つけられた知里は、校則を変えようと奮闘しますが…。私も学生時代、髪型や服装を細かく指定され、窮屈な思いをしたことがあります。校則とは何のためにあるのかを、改めて考えるきっかけとなる一冊だと思います。



【 家族とケンカした時に とき 『赤い糸でむすばれた姉妹』 しまい

作 / キャロル・アントワネット・ピーコック
訳 / 日当陽子
出版社 / フレーベル館

中国の養護施設から米国の里親の元へ渡ったウェン。11歳から言葉も文化も異なる国へ行き、新しい環境や家族に馴染むのにとても苦労します。さらには、良い子にしてないと施設に帰されてしまうかもしれないという恐怖など、様々な心の葛藤が描かれています。家族がいることが当たり前だと感じていた私は、本当の家族と別れて異国へ渡らなくてはならない子どもが多くいることに驚きました。家族の大切さを再確認できた一冊です。



【 知らない世界をのぞいてみたい時に とき 『13歳からの考古学』 こうごく

13歳からの考古学
『なんで人は青を作ったの?青色の歴史を探る旅』
著 / 谷口陽子 高橋香里
画 / クレメンス・メッツラー
出版社 / 新泉社

青という色は作ることが難しく、かつては非常に高価なものだったといいます。古来より試行錯誤しながら作りだしていたこの色は、長らく人々を魅了してきました。この本は中学1年生の二人の男子生徒が、専門家の手を借りながら動物や植物、鉱物などを加工し、青色を再現していく物語です。
私も学生の時、実験による物質の変化に心がおどりました。青色にまつわる、考古学、美術、科学が学べるおすすめの一冊です。



【 将来について考えてみたい時に とき 『雨にシュクラン』 かんが

著 / こまつあやこ
出版社 / 講談社

家庭の事情などで高校を中退した16歳の真歩。人と違う生き方に悩んでいた彼女は、とあるきっかけでアラビア書道という新たな世界に出会い、自分の進みたい道を見つけていきます。私にも今までに失敗した経験や選択の時が沢山ありました。みなさんもそんな時には、真歩のように新しい出会いに気づき、大切にしていってほしいと思います。

どんな道を選んでも、自分らしく進んでいけるという希望を感じさせてくれる一冊です。

令和7年度

南アルプス市サードブックリスト 【中学校】

編集・発行者 南アルプス市学校司書
南アルプス市立図書館司書
発行日 令和8年1月 Vol. 5
南アルプス市立図書館ホームページ
<http://m-alps-lib.e-tosh.jp>